

# NEW VISUAL PRODUCTS



## SPREAD for .NET Windows Forms Edition

グリッドコントロールとしてもコンプリートな機能を備えた表計算コントロール



秋月巖ソリューション事務所  
秋月 巖 AKIZUKI, Iwao  
<http://www.akizuki.co.jp/>

問合先 グレープシティ株式会社  
TEL : 022-777-8211 URL : <http://www.grapecity.com/>  
FAX : 022-777-8233 MAIL : [sales@grapecity.com](mailto:sales@grapecity.com)

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:  
Excel 2000

VE

ターゲットOS  
Windows 2000/XP/Server 2003  
対応開発環境  
Visual Studio .NET 2002/2003  
.NET Framework 1.0 (SP3) / 1.1

価格  
155,400円 (パッケージ版)  
134,400円 (ダウンロード版)  
※ともに1開発ライセンス。  
ランタイムライセンスフリー

### ■ 表計算コントロールと グリッドコントロールの違い

表計算コントロールとグリッドコントロールの違いについて、昔、書いたような記憶があるのだが、それがいつだったのか、どうしても思い出すことができない。が、とにかく、それを書かないとこの記事ははじまらない。今回、紹介する「SPREAD for .NET Windows Forms Edition」が表計算コントロールであり、そのコンセプトが正しく理解されないことが多いからである。

まず、表計算コントロールとはグリッドコントロールであり、それ以上の機能を持っている。つまり、グリッドコントロールの上位互換製品ということになる。とはいっても歴史的経緯としては、グリッドコントロールが表計算コントロールに発展したのではなく、スプレッドシート機能がその進歩とともにグリッドの機能を抱え込んだというほうが正しい。だから、グリッドコントロールは別の経路で発展してきたし、その発展先に表計算機能があるわけでもない。

### ■ グリッド機能+ 魅力的な表計算機能

とにかく、表計算コントロールは、本来、アプリケーションに表計算機能を追加するために生まれたものである。そして、完全なグリッドコントロールとしても使用することができる。特にこのSPREAD for .NET Windows Forms Editionは、どちらかというグリッドコントロールとして使われることを前提としているように思える。

だから、表計算コントロールだからといって、専用のグリッドコントロールよりも機能的に劣るということはない。単に他の機能が付属しているというだけのことである。とはいっても(グリッドコントロールとしては)余計な機能があるという理由で、コンポーネントのサイズが大きいという可能性はあるが、少なくとも私はそれを確認していない。また、一般的に言って必要な機能に特化した製品のほうが動作が安定しているといえる。だから、通常のグリッドコントロールを必要としている人がこのコンポーネントを選ぶかどうかは、表計算機能を余分なものと考えるか否かにかかっている。ある

いは表計算機能が価格差に見合うかを判断する必要がある。とはいえ、とりあえず次のプロジェクトで表計算機能が不要にしても、この機能は余分なものと割り切ってしまうには、あまりにも魅力的過ぎる。

## アイデアに満ちた 開発者にお勧め

一般的にグリッドコントロールのプログラミングを習得するのは、それほど簡単なことではない。今日のグリッドコントロールは、あまりにも多機能化しているからである。「今回は表計算機能はいらないから、使うときになったら導入すればいいや」と考えても、いざ導入するとなると新しくグリッドの操作から覚えなくてはいけなかったりする。だから、最初から、このコンポーネントを採用しておけば、そのような無駄を省くことができる（かもしれない）。まあ、顧客から表計算機能を要求されることはあまりないと思う。だから、表計算機能を使わなければいけなくなるという場面はあまりないかもしれないが、アイデアに満ちた開発者ならば、この機能がいろいろな事務現場で有効なことに気づくだろう。そしてそのアイデアを積極的にユーザーに提案できる（かもしれない）。要するに使う人次第なわけだが、積極的に何か面白いプログラムを作ろうとしている人にとっては、普通のグリッドコントロールよりも魅力的に見えるはずである。

また、SPREAD for .NETにはASP .NET用のWeb Forms Editionもあるので、同じスキルをWebアプリケーション開発に利用することもできるはずである。ただし、私は以前、Webフォーム用のグリッド系のコントロールを評価したときに、Webアプリケーション

でグリッド機能を実現するためには、かなりの部分をDHTMLに依存せねばならず、Webアプリケーションで重要な“シンプルであること”という条件が損なわれると感じたことがある。

## El Tabelle for .NET との違いは

ちなみに同じグレープシティ社には、El Tabelle for .NETという表計算コンポーネントがある。El Tabelle for .NETはグレープシティ社の自社開発製品であり、対してSPREAD for .NET Windows Forms Editionは米FarPoint Technologies社の開発した製品をローカライズしたものである。

この両者は完全にコンセプトの一致する製品のようなものである。グレープシティ社が用意した比較を見る限り、「SPREAD for .NET Windows Forms Editionが高価格、高機能」「El Tabelle for .NETがやや低価格のやや低機能」ということのようなのである。しかし、低価格といっても廉価なダウンロード版でも73,500円である。個人のプログラマが買うのは難しいだろう。また、低機能といっても機能リストを見て通常は機能不足を感じないくらいに高機能である。なお、El Tabelle for .NETには、ASP .NET用のコンポーネントは発売されていない。

SPREAD for .NET Windows Forms

EditionはEl Tabelle for .NET以上に高価である。これこそがSPREAD for .NET Windows Forms Editionの最大の欠点だと私は思う。

では、まず、SPREAD for .NET Windows Forms Editionの目玉である表計算機能から見ることにしよう。

## まずは準備

SPREAD for .NET Windows Forms Editionを使うために、Visual Studio .NETのツールボックスに登録する必要がある。[ツール]メニューの[ツールボックスアイテムの追加と削除]を選択し、表示されたダイアログの「.NET Frameworkコンポーネント」タブを選択する。そして、表示されたリストの中から、「FpSpread」をチェックする(図1)。私はこのコントロールが米FarPoint Technologies社の製品だと知っていたので、Fではじまるコンポーネントを探して見つけることができたが、このリストはかなり長いので、知らなかったら見つけるのはなかなか大変だったかもしれない。

## セルに数式を埋め込む

まずはじめに、セルに数式を埋め込むことは、このコントロールが表計算コントロールであることを示すもつ

図1：ツールボックスに登録するために「FpSpread」をチェックする

